

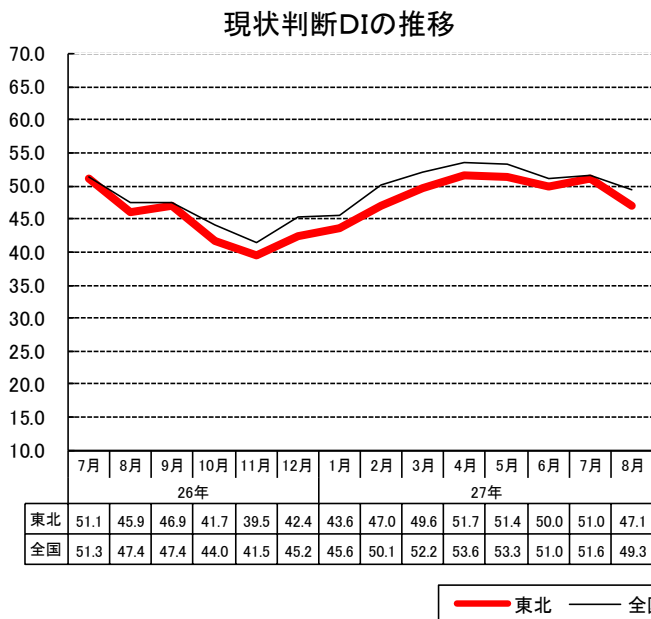
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター  
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成27年8月東北分  
(新潟を含む東北7県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成27年8月東北分（新潟を含む東北7県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

**1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）**

現状判断DIは「47.1」と2か月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲3.9ポイントとやや悪化し、5か月ぶりに景気判断の基準となる50を下回った。



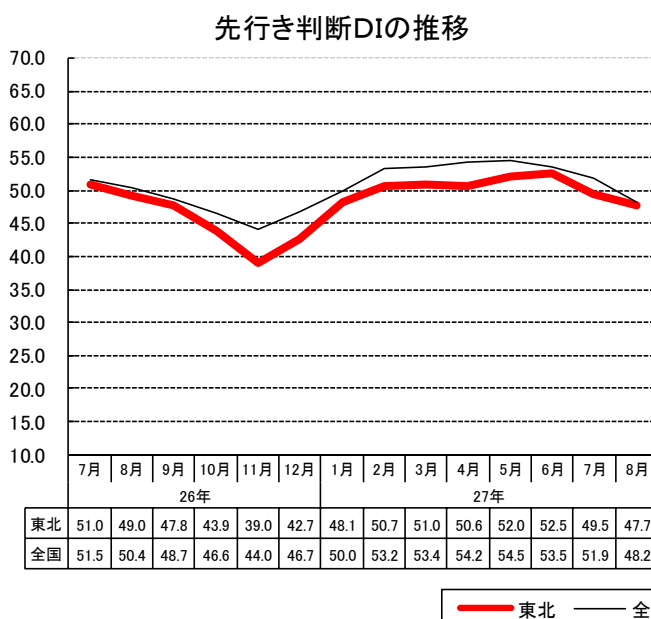
・家計動向…コンビニ、百貨店およびレジャー関連等、一部の業種でDIが前月を上回ったものの、スーパー、乗用車販売店等の小売関連や飲食関連、旅行・交通関連等でDIが低下した。DIは「46.2」（▲2.5）と2か月ぶりに前月を下回り、基準値50を3か月連続で下回った。

・企業動向…すべての業種でDIが、前月から横ばいもしくは下回った。DIは「47.5」（▲8.6）と3か月ぶりに前月を下回り、基準値50についても3か月ぶりに下回った。

・雇用動向…DIは「52.3」（▲3.7）と2か月ぶりに前月を下回ったものの、基準値50を2か月連続で上回った。

**2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）**

先行き判断DIは「47.7」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.8ポイントとやや下回り、景気判断の基準となる50を2か月連続で下回った。



・家計動向…旅行・交通関連等を除いた各業種でDIが前月から横ばいもしくは低下した。DIは「46.9」（▲2.4）と3か月連続で前月を下回り、基準値50を2か月連続で下回った。

・企業動向…農林水産業従事者や広告代理店等一部の業種でDIが前月を上回ったものの、それ以外の業種では前月からDIが横ばいもしくは下回った。DIは「49.4」（+1.2）と2か月ぶりに前月を上回ったものの、2か月連続で基準値50を下回った。

・雇用動向…DIは「50.0」（▲3.6）と、2か月連続で前月を下回ったが、基準値50を4か月連続で上回った。

## <参 考>

### ■D Iの推移※

#### (1) 現状判断(方向性) D I

	26年						27年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北現状	51.1	45.9	46.9	41.7	39.5	42.4	43.6	47.0	49.6	51.7	51.4	50.0	51.0	47.1
家計動向関連	49.8	44.8	46.2	40.2	38.6	41.3	42.5	46.0	49.1	51.6	53.0	48.6	48.7	46.2
企業動向関連	52.4	47.0	50.0	44.0	40.5	44.6	44.6	50.0	50.6	53.0	46.4	55.4	56.1	47.5
雇用関連(参考)	56.8	51.1	45.5	46.6	43.2	45.5	48.9	47.7	51.1	50.0	51.1	48.9	56.0	52.3

#### (2) 先行き判断D I

	26年						27年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北先行き	51.0	49.0	47.8	43.9	39.0	42.7	48.1	50.7	51.0	50.6	52.0	52.5	49.5	47.7
家計動向関連	50.3	49.7	47.9	43.5	38.1	41.8	47.3	51.0	51.2	50.7	52.8	51.0	49.3	46.9
企業動向関連	52.4	46.4	51.2	45.2	40.5	44.6	51.8	50.0	49.4	51.2	50.0	56.5	48.2	49.4
雇用関連(参考)	52.3	50.0	40.9	44.3	42.0	45.5	46.6	50.0	52.3	48.9	51.1	54.5	53.6	50.0

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 平成 27 年 8 月 25 日～31 日

回答者数 206/210 名、回答率 98.1%(全国 1,864/2,050 名、90.9%)

以上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-225-1426 FAX : 022-225-0082

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「やや良くなっている」

（コンビニ）…気温と天気恵まれ、例年よりも来客数が多い。経営している複数店舗のうち、一部の店は競合店の影響を大きく受けているものの、その他の店は来客数、売上共に順調である。また、天候のおかげで祭りも盛況に終わっており、県全体の商売が良い状態であったとみている。

（テーマパーク）…わずかではあるが、客の購入単価が上がってきている。

（職業安定所）…前年同月と比較して、新規求職者数、有効求職者数は微減しており、新規求人数並びに月間有効求人数は微増している。また、有効求人倍率はこの1年の間、0.8 後半～1.0 台前半で推移しており、雇用が落ち着いている状況に大きな変化は無い。ただし、求職者数の減少に比べて求人数の増加が目立っており、3か月前と比べて明るい印象を受けている。

##### ○「変わらない」

（カメラ販売店）…低価格商材の動きは少しずつ良くなっている。しかし、高額商材の動きは横ばいのままで推移しており、結果的に売上は変わらない状態である。

（百貨店）…夏物商戦の終盤であるが、プレミアム付商品券の利用は食品を中心とした身の回り品の利用が多く、消費拡大にはつながっていない。

（衣料品専門店）…シャツ、スラックスなどのクールビズアイテムの買い足し需要が例年より大幅に減少しており、買い控えが更に進んでいる。

（家電量販店）…お盆までは猛暑の日が続いたため、冷房、エアコン、冷蔵庫などが好調に売れていた。しかし、お盆以降は気温が低下したこともあって急激に販売量が減少しており、前年比90%に留まっている。

（観光型旅館）…当館の来客数もそうであるが、同業者や他業種の人との会話からも、相変わらず景気は低迷したままであることがうかがえる。

（通信会社）…設備投資をちゅうちょしている企業が見受けられる。経営トップは頻繁に新規事業の話をするものの、慎重になって保留している状況である。中国経済の不安定により先行きが不透明になっているためであり、ひとつでも明るい兆しがみえれば、また変わっていくのではないかと。

（美容室）…例年であれば、夏祭りの時期は浴衣の着付けの仕事が増えるが、今年はお金をかけないように、雑誌などを見て客が自分で着付けをしている。

（リフォーム業）…8月単月では前年実績を超過している。前月の落ち込み分も回復しており、累計ではほぼ計画通りとなっている。

（食料品製造業）…一般消費についてはそれほど大きな変化はみられていない。しかし、進物商品の受注は前年を下回っており、消費者は購買に慎重になっている様子がうかがえる。

（土石製品製造販売）…冬季に向けた道路修復工事や積雪地域の補強工事が多くなる時期であるが、材料費や運搬費用の値上げが響いているのか、例年に比べ発注量が少ない状態である。

（建設業）…施工能力の限界状態がしばらく続いている。

（公認会計士）…小売業関係は、売上が前年と比べ減少しており、なかなか戻らない状況である。また、建設関係は相変わらず小康状態であるが、利益を計上しているクライアントが多い。

（飲食料品卸売業）…地元繁華街において景況感を反映しやすい料飲店向けの販売量が横ばいであり、外食への支出が伸びていないことがうかがえる。

##### ○「やや悪くなっている」

（商店街）…7月まで順調に推移していた来客数が、8月中旬以降は目立って減少してきている。これは低価格販売店にとっては死活問題であり、9月以降の天候回復に期待したい。

(スーパー) …プレミアム付商品券の効果は、お盆でほぼ終了している。猛暑の影響で動きの良かった飲料以外は、ここにきて軒並み販売量の伸びがみられなくなってきている。

(乗用車販売店) …8月は祭りやお盆休みで稼働日数が少ない。更に展示会などの来客数が急に少なくなっており、商談自体の件数が減少してきている。

(住関連専門店) …祭りがあり、更に天候も良かったが、売上、来客数共に落ち込んでいる。

(高級レストラン) …選挙がある月は来客数が伸びずに苦戦する。特に夜の影響が大きく、観光客をターゲットにしても埋めることができていない。

(一般レストラン) …ディナータイムの来客数及び客単価の減少が顕著であり、前年同月と比較しても勢いが良いことが良く分かる状態である。

(都市型ホテル) …宿泊、レストラン、婚礼など、個人が利用する部門の売上が頭打ちとなっている。先々の予約も芳しくない状況であり、消費の落ち込みを実感している。

(旅行代理店) …巷では景気が良くなっているというが、当社に限っては夏の個人旅行の販売量が前年を大きく下回っている。飛行機の減便や暑さのせいも、国内の動きも鈍い状況である。

(電気機械器具製造業) …当社製品の大口価格が下落傾向にある。

(コピーサービス業) …数社の取引先から仕入価格値上げの案内がきているが、販売価格に転嫁できるか不安である。

(人材派遣会社) …登録者数が更に鈍化しており、需要に対しての人材の引当率が低下している。そのため、7月売上が前年比5%減、粗利で前年比9%減となっており、3か月前と比べて状況は悪化している。

(新聞社[求人広告]) …求人数は都市圏集中型になってきており、それ以外の地域との格差が広がっている。オリンピック景気にわく首都圏集中と同じ構図となっており、被災地では求人をする事自体が諦めモードとなりつつある。さらに、就職試験8月解禁と一斉解禁が相まって深刻化している。

## ○「悪くなっている」

(食品専門店) …夏の商戦は非常に悪い状況であり、お中元、暑中見舞いなどの物品を購入する人が減っているように見受けられる。また、消費者はプレミアム付商品券を必需品に使用しており、し好品などには使用していないようである。

## (2) 先行き判断理由

### ○「良くなる」

(衣料品専門店) …プレミアム付商品券がここ数か月の景気を押し下げてしまっているのではないかと、という客の話を良く聞く。お盆の旅行など確たる目的がある人は早々に使用しているが、そうではない人は、プレミアム付商品券を購入しても12月末日までの期限までに利用すればよいと考えており、その分現在の景気がしぼんでいるのではないかと。ただし、今後は使用期限までには確実に景気は良くなるとみている。

### ○「やや良くなる」

(高級レストラン) …秋口に入るところから、予約や問い合わせが多数きており、夏場に比べて期待できる。また、9月の大型連休も控えている。

(旅行代理店) …ふるさと旅行券の利用や、夏に旅行を手控えた客が秋のベストシーズンに出かけることを見込んでいる。9月の大型連休の売上は好調であるので、良くなっていくのではないかと。

(通信会社) …プレミアム付商品券及びプレミアム付旅行券の販売状況から、先行きの景気は若干良くなるのではないかと期待をしている。

(遊園地) …今年は9月の大型連休があるため、消費者が大きく動く見込んでいる。

(農林水産業) …旧盆以降も、ももの注文数は例年どおりである。また、好天に恵まれて品質も良いため、後半の出荷分も例年より販売単価が良くなると期待している。

(司法書士) …県外の中堅ハウスメーカーが当地域に出店する動きがみられている。

### ○「変わらない」

(食料品製造業) …中国などの海外経済の先行きが懸念されている。その影響によって輸出関連企業を中心に経営が悪化すれば、消費者は購買に慎重となるため、大きな伸びは期待できない。

(輸送業) …夏季の一時的な需要の増加も落ち着いてきており、今後の状況に大きな変化はみられない。

(広告代理店) …地下鉄の新規路線開業に向けた動きはあるものの、中刷り広告の期待度は少なく、大きな変化は無い見通しである。

(人材派遣会社) …景気が上向き要素が無いと顧客は判断しており、しばらくは様子見が続くとみている。

(職業安定所) …求人数の高止まり状態が継続しているものの、人手不足により生産量の増加、あるいは売上の伸長ができない企業が多い。人材確保が思うように進まない今の状況では、大きな改善を見込むことは難しい。

### ○「やや悪くなる」

(百貨店) …一般的なインバウンドの売上があるなかで、株安並びに海外情勢、特に中国の情勢が懸念材料となっており、先行きに不透明感がある。

(スーパー) …株価の大幅下落と円高が、消費者心理にマイナスに影響することを懸念している。

(コンビニ) …暑さのおかげで買上点数は伸びたものの、客単価は前年を下回っており、来客数も伸びていない。たばこの売上が再浮上するなどの期待は持たず、さらに主力の米飯類の悪さも目立っており、先行きがプラスになるような要因は見当たらない。

(家電量販店) …プレミアム付商品券の特需が一段落するとみている。

(住関連専門店) …9～10月にかけて商品の値上がりがあるので、厳しい状況になるとみている。

(都市型ホテル) …下半期は上半期のような勢いある予約受注が無く、停滞している感がある。はっきりとした要因は分からないが、予約受注状況だけをみると明らかに鈍化してきている。

(電気機械器具製造業) …この先数か月は大口価格の下落傾向が継続するとみている。

(コピーサービス業) …新規設備投資の商談が少なく、今後販売量が増えていくとは考えにくい。

(新聞社[求人広告]) …世界的な株安の影響などもあり、先行きの不透明感から慎重になっている様子が見えがえる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上